

新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチン供給の公平性を早急に向上させるための5つのステップ

2021年5月19日に欧州の *European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations (EFPIA)* が複数の団体*と共同発表したプレスリリースを日本語に翻訳したものです。本プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容およびその解釈については英語を優先します。原文は、www.efpia.eu をご参照ください。

革新的なワクチンメーカーやバイオテック企業は、新型コロナウイルス (COVID-19) ワクチンの開発と製造に向けた世界的な取り組みの最前線にあり、その多大なる努力は実を結んでいます。200件以上の臨床試験と、世界中のメーカーによる300件近い提携や協力を経て、生産量はわずか数ヶ月でゼロから5月末には22億回分、2021年末には110億回分という驚異的な見込みで新型コロナウイルスワクチンを増産しています (Airfinity 社によるデータ)。これは、世界の成人人口のワクチン接種に十分に対応できる生産量です。

しかしながら、重要なことは、新型コロナウイルスワクチンは現在、世界中の優先すべきすべての人々に公平に届いていないということです。

メーカー、政府、非政府組織が協力して、この不均衡を是正するために早急に対応しなければなりません。緊急措置として、責任を持ってワクチンを配分し、品質や安全性を犠牲にすることなく生産量を最大化することに取り組む必要があります。

そのために、革新的なワクチンメーカーとバイオテック企業は以下のことに取り組みます。

ワクチンの分配の促進

- 大量の新型コロナウイルスワクチンの国内供給がある政府と早急に協力し、COVAX やその他の確立されたメカニズムを通じて、責任を持ってタイムリーに、低中所得国に十分な量のワクチンを提供する
- 供給契約のない新型コロナウイルスワクチンを、COVAX またはその他の確立されたメカニズムを通じて、低中所得国に追加的に提供できるようあらゆる努力をする

継続的な生産体制の最適化

- 安全性と品質を損なうことなく、新型コロナウイルスワクチンの生産量を最大化するため、量産が可能なパートナーとの追加的な協力を含め、実行可能なあらゆる努力をする
- 必要とされる新型コロナウイルスワクチンの生産の拡張を迅速かつ安全に行う方法を、政府や原料・資材のサプライヤーと協力して検討する

* Association of the British Pharmaceutical Industry (ABPI), Biotechnology Innovation Organization (BIO), International Council of Biotechnology Associations (ICBA), International Federation of Pharmaceutical Manufacturers and Associations (IFPMA), Pharmaceutical Research and Manufacturers of America (PhRMA), Vaccines Europe (VE)

貿易障壁の解消の呼びかけ

- ワクチンの重要な原料の貿易障壁を特定し、Coalition for Epidemic Preparedness Innovations (CEPI) をサポートする。原料のギャップに対処する独立したプラットフォームを構築し、新設された COVAX サプライチェーン・製造タスクフォースを通じて、ワクチンの充填・最終化のキャパシティのマッチメイキングを促進する CEPI の取り組みを支援する
- 輸出に関する貿易および規制上の障壁を撤廃すること、また、主要な原料、資材、ワクチンの国境を越えた供給と、ワクチン生産に必要な専門人材の優先的な移動を促進し、迅速化する政策を採用することを、世界貿易機関 (WTO) と連携して、政府に促す

国の準備態勢の支援

- COVID-19 ワクチンの配備について政府と連携し、特に低中所得国においては、供給されたワクチンを有効期間内に使用できる態勢が整備されているようにする
- 世界の公衆衛生に不可欠な COVID-19 以外のワクチンの生産と配備への影響を軽減する

さらなるイノベーションの推進

- 懸念されている変異種に有効なワクチンを含め、新たな COVID-19 ワクチンの開発を優先する
- 新たなワクチンや治療法の開発を支援するため、COVID-19 変異種の病原体 (サンプルや配列など) への制限のないアクセスを保証するよう政府に求める